

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	予防事業費				
担 当 課 係 名	保健 課		- 係	作成者	赤坂宏秀
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち			総合計画のページ
	基本計画	健康づくりの推進と病気予防体制の充実			
	主要施策	健康づくりの推進			45
予 算 費 目	一般 会計	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	2 目	予防費
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	予防接種法、感染症予防法				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託（全部） ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	予防接種により獲得した免疫水準の維持。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	各種予防接種の実施。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	接種者	目標	人	5,890	4,915	6,240	
			実績	人	7,079	7,174	7,617	
			達成度	%	120.2%	146.0%	122.1%	
	成果指標	接種率	目標	%	48	40	50	
			実績	%	57	58	60	
			達成度	%	118.8%	145.0%	120.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				12,378	14,528	17,374	
	人 件 費 (B)		—		7,853	8,071	7,925	
	職 員 数		—		1.00	1.00	1.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				20,231	22,599	25,299	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				20,231	22,599	25,299
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		2,858	3,150	3,321	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		634	719	815	

【事務事業の今までの成果】

予防接種法及び感染症予防法に基づき、予防接種を実施。
安定的な接種機会を確保（提供）している。
免疫水準の維持

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	予防接種法、感染症予防法に基づき、国、県の指導の下、接種率の向上、感染予防に努めている。
事業に対する市民の意見 （事業に対する期待、要望、苦情等）	インフルエンザを除き、接種率は高く、感染症に対する意識は高いものと思われる。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	予防接種法及び感染症予防法に基づき、実施されている事業で、評価は妥当と判断した。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	市民の健康な生活を守る上で重要かつ不可欠な事業であり、接種率の確保向上を図りながら継続すべきと考えます。

一次評価診断図

